

県にも責任があるのでは

法的根拠がない

問 大雪りばあねつとへの委託金が県から緊急雇用事業の補助対象外とされ、平成24年度分の5億200万円の返還に続き、23年度分の委託金4億3千万円のうち約1億7千万円の返還請求が出された。

許可を出した県にも責任の一端はあると考えるが、補助対象外分を全て町で負担するののか。

し、それに基づくものとなる。県が負担する法的根拠がない。

問 役場職員も連帯責任を取るべきと考えるが。

佐藤町長 法的に無理である。

を含めた慎重かつ冷静な対応、職員の法令順守の徹底、担当課間の責任の明確化と連携の確認に努めていく。

この委託事業に関わった職員個々の調査を分限懲戒審査委員会で行い、事務処理不適正等が認められる場合は厳正に処分したい。

問 再発防止の対策は。

佐藤町長 初期の調査等

佐藤町長 返還の手続きは、県と町との間の補助金交付契約を一部解除

佐藤町長 「山田町復興計画」は、平成23年から32年までのおおむね10年間の計画としている。この計画を具現化するため、努力している。

佐藤町長 「山田町復興計画」は、平成23年から32年までのおおむね10年間の計画としている。この計画を具現化するため、努力している。

用地確保の問題、施工業者・資材確保等の課題もあるが、着実に前進している。

復興宣言は何年後に10年計画で努力している

復興宣言は何年後に

復興宣言は何年後にできそうか。そこに向かって着実に進んでいるか。

佐藤町長 「山田町復興計画」は、平成23年から32年までのおおむね10年間の計画としている。この計画を具現化するため、努力している。

性教育

好意を伝える勇気を

人格の形成が大事

問 思春期の男女にとって異性に対して好意を持つのは当たり前のことである。勇気がいることであるが、相手に直接伝えるのが適切な行動と考える。

に付け込む悪い人が大勢いると思う。それを教える分かりやすい言葉として、童話になぞらえて「オオカミの群れに身を投げ出す」行為であると教えては。

他人が手助けしてくれらるることは弱みを知られることであり、そこ

佐々木教育長 家庭教育、社会モラルの範囲であり、学校教育の範囲を超えていると思う。

保健体育における性教育では、思春期には生殖に関わる機能が成熟すること、それに伴い適切な行動が必要になることを教えており、女性を守るという観点の指導である。

学校は生きる力・理性を育てる所である。夢・希望を持ちしつかりとした生活ができてくると、それなりのモラルを持った人間ができてくると考える。



黒沢一成議員
(無所属)



役場1階ロビーで復興イメージの映像を見ることができます